

2017年4月7日

関係各位

フウガドールすみだ 2017/2018 シーズン sfida ブランド新ユニフォーム決定！

株式会社イミオ

株式会社イミオ(東京都文京区 代表取締役:倉林啓士郎)は、日本フットサルリーグ (Fリーグ) 所属「フウガドールすみだ」の2017/2018 シーズンユニフォームデザインを決定いたしました。



デザインについて

1st ユニフォームは昨シーズン同様エンジとネイビー (FP)、グリーン (GK) をベースにデザイン。胸のV字には勝利への意志、アクセントカラーのイエローには躍動感の意味を込め、今シーズンのテーマである“一点突破”をユニフォームで表現しました。

2nd ユニフォームはホームタウン墨田区にゆかりのある葛飾北斎の“富嶽三十六景”「神奈川冲浪裏」(FP)、北斎漫画十一編「勝敗」(GK)を元にしたデザイン。地域に根差したチームならではのデザインをユニフォームで表現いたしました。

機能性について

ユニチカ社の機能素材を使用し、生地裏面(肌側)の導水層と生地表面の拡散層で構成される特殊な多重構造ニット素材ですばやく汗を吸収し、発散させます。夏場の不快感を軽減し、サラッと柔らかな肌ざわりで涼しくさわやかな着心地になります。



サプライヤー締結について

sfida（スフィダ）は2005年、高品質な手縫いサッカーボール製造から始まったフットボールブランド。「sfida」とは、イタリア語で「挑戦」を意味し、世界の共通言語である「フットボール」をブランドの原点として、「競技のための道具」という概念を超えた、新しいスポーツ用品づくりに挑戦します。sfidaは2017/2018シーズンも、Fリーグという舞台上で常に挑戦し続けるフウガドールすみだをサポートしていきます。

フウガドールすみだについて

2014/2015シーズンより日本最高峰のフットサルリーグ（Fリーグ）に参入し、所属4年目を迎えるフットサルチーム。チーム名の由来は「FU=FUTSAL（フットサル）」、「G=grow up（成長する）」、「A=associate（仲間）」と、スペイン語「JUGADOR（選手）」を合わせた造語。「フットサルとともに成長する仲間たち」という思いが込められています。東京都墨田区をホームタウンに活動しており、地域密着チームとして、墨田から日本一・アジア一・そして世界へと挑戦していきます。

フウガドールすみだ WEB サイト <http://www.fuga-futsal.com/>

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社イミオ マーケティング部広報 担当/塩沢

TEL：03-6902-1707

FAX：03-6902-1708

株式会社イミオ概要

設立：2006年4月1日（2004年7月創業）

本社：東京都文京区目白台1-17-7 1F TEL：03-6902-1707 FAX：03-6902-1708

資本金：1億6,800万円（準備金含む）

売上：5億円（2016年4月期実績）

代表取締役社長：倉林啓士郎

【スポーツブランド事業】

イミオの原点である「sfida（スフィダ）」ブランドに加え、世界の多くのプレーヤーから信頼されている英国「mitre（マイター）」ブランドを展開しています。フットサル・サッカー用品を製造し、主にスポーツ量販店・専門店、ライフスタイルショップ等への販売を行っています。また、フットサルTOPリーグ（Fリーグ）やJリーグチーム、選手等への協賛活動を通じて、フットボール文化の発展にも貢献いたします。

2016年にはEAFF E-1フットボールチャンピオンシップ（旧EAFF東アジアカップ）の試合球にsfidaのFIFA公式球VAISが選ばれました。これまでsfidaはフットサル中心に展開してきましたが、サッカー分野でのさらなる市場拡大を狙うと同時に、国際大会でのブランド露出でアジアを中心とした海外展開の加速を図ります。

【スポーツパーク事業】

遊休地や商業施設屋上スペースなどを活用して、子供から大人まで都心で気軽にスポーツを楽しめる「場所（Park）」の企画・運営も行っています。国内でフットサル施設「sfida sports park」を運営し、さまざまなスクールや企画を実施して、子供・ビギナーから上級者までレベルに応じた成長・スキルアップをサポートしています。

また、自社施設をショールームとした、他のフットサルコート、サッカー場、テニスコート等への施工・運営コンサルティングも行っています。世界のスポーツの最前線でも使用されている高品質な人工芝やLED照明のご提案も行っています。

【スポーツIT事業】

2014年よりフットサルコート検索・予約サイトRootsを運営。コートプラットフォームとして、フットサル・サッカーコミュニティを繋ぐサービスを目指し、予約・コマースなど複層的なサービス提供で、需要を喚起していきます。

SFIDA 公式サイト：<http://sfidasports.com/>

イミオ公式サイト：<http://imio.co.jp/>